

木更津工業高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	技術英語 I			
科目基礎情報							
科目番号	0005	科目区分	専門 / 必修				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2				
開設学科	機械・電子システム工学専攻	対象学年	専1				
開設期	後期	週時間数	2				
教科書/教材	『Essential Guide to English Punctuation』南雲堂 2016年						
担当教員	荒木 英彦						
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学技術に関する英文で典型的に用いられる基本表現を理解し、活用できるようになる。 ・ 科学技術に関する英文でよく用いられる、数字・数量・単位に関する表現を理解し、活用できるようになる。 ・ 科学技術に関する英文でよく用いられる句読法を身につける。 ・ 科学技術に関する英文の内容を理解するためのリーディング能力を身につける。 							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	Technical term の語彙力が工業英語2級程度	Technical term の語彙力が工業英語3級程度	Technical term の語彙力が工業英語3級程度以下				
評価項目2	技術的知識に基づく技術英語文献の和訳ができる	技術的知識に基づく技術英語文献の和訳が大体できる	技術的知識に基づく技術英語文献の和訳ができない				
評価項目3	工業英語2級程度の問題が解ける	工業英語3級程度の問題が解ける	工業英語3級程度の問題が解けない				
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準学士課程で学習した英文法、英単語・熟語を復習し、身につけておくことが肝要である。 ・ 授業中の課題をきちんとこなすことで実力がつく。 ・ 工業英検2級に合格できる能力を身につけることを目標とする。 						
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として、1時間で2レッスン行う。 ・ 教科書のテキストにより英文の句読法を身につける。 ・ 練習問題により英文要約及び英作文のテクニックを向上させる。 						
注意点	前期・後期とも、中間試験および定期試験を実施し、試験成績(2回の試験の平均点)を80%、課題の成績を20%として評価する。 不明な点は随時質問すること。						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	授業の目標と学習方法のガイダンス	授業の目標と学習方法について理解する。			
		2週	Lesson1,2	ピリオド、コンマについて理解する			
		3週	Lesson3,4	コロンについて理解する			
		4週	Lesson5,6	ダッシュ、括弧について理解する			
		5週	Lesson7,8	省略符号、引用符について理解する			
		6週	Lesson9,10	斜線、ハイフンについて理解する			
		7週	まとめと復習	語の分割について理解する			
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	中間テスト返却	中間テストの範囲の学習事項において理解が不十分なところの確認			
		10週	Lesson11	アポストロフィについて理解する			
		11週	Lesson12,13	大文字について理解する			
		12週	Lesson14,15	数について理解する			
		13週	Lesson16	略語について理解する			
		14週	Lesson17	イタリック体について理解する			
		15週	Lesson18,19	語の分割について理解する			
		16週	定期試験				
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0